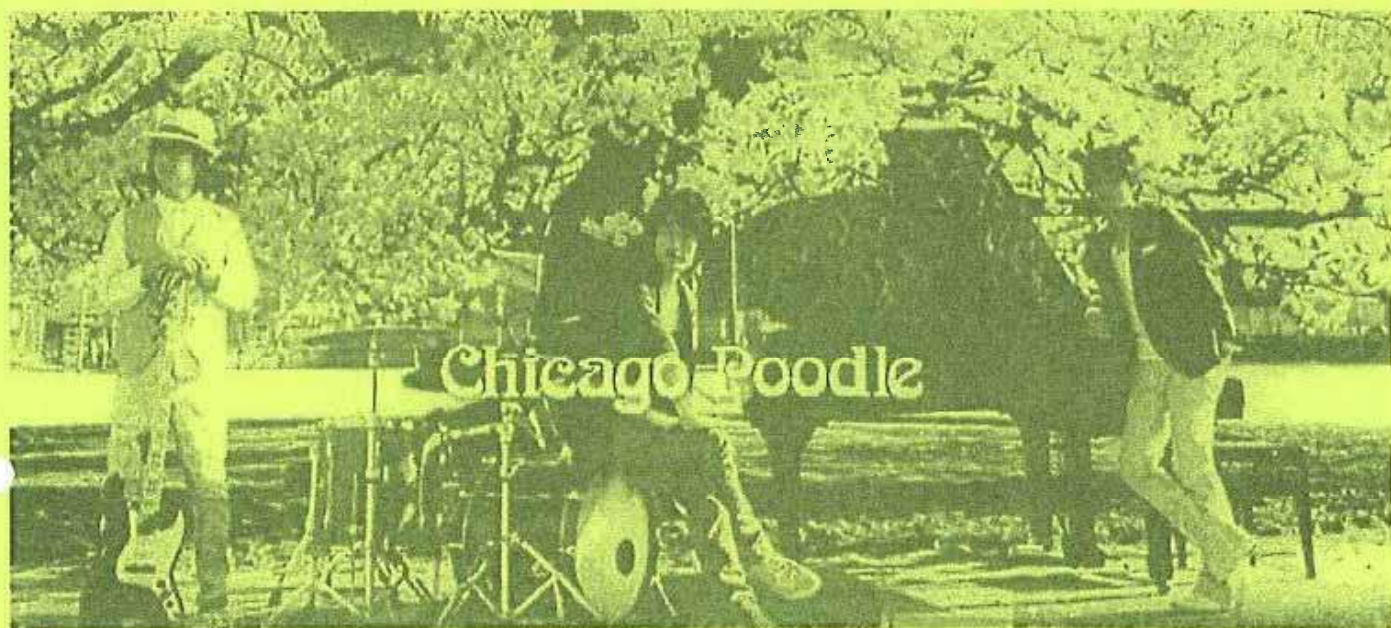


豊かな自然と歴史・文化ただよ
誇りと愛着がもてる味真野

味真野自治振興会総会

日時 平成23年4月16日(土)午後7時

場所 味真野地区公民館



味真野自治振興会

味真野自治振興会総会

次第

- 1 開会のことば
市民憲章唱和

- 2 会長挨拶

- 3 来賓祝辞

- 4 来賓紹介

- 5 議長選出

- 6 議事

第一号議案

- ① 平成 22 年度事業経過報告
- ② 平成 22 年度収支決算報告
- ③ 会計監査報告

第二号議案

- ① 平成 23 年度事業計画（案）について
- ② 平成 23 年度予算（案）について

- 7 役員を選出

- 8 新会長挨拶ならびに役員紹介

- 9 閉会のことば

第一号議案

平成 22 年度 事業経過報告書

文化教養部

① 味真野の文化の振興事業

イ、味真野地区内における、昔からの「味真野茶」の文化に関する事業に取り組みました。具体的には

- ・ 味真野とお茶の歴史の広報
市の広報や、公民館だよりで宣伝普及に努め、地区内の各催し物に積極的に参加してお茶の文化を伝えてきました。
お茶の歴史の講座も一回開催し 70 名の方が参加しました。
- ・ 茶摘み、茶もみ体験事業
5 月に 2 回茶摘みを実施し、100 名の参加で生葉で 60kg、製茶に仕上げた 12kg できました。後日、全国コンクールの出場の皆様にもさしあげました。
- ・ 特産品の開発、試食、販売
今年取り組んだお茶を素材にし、くず饅頭やクッキーにお茶の葉を入れ、試食後販売をして、好評を得た。次年度、さらに取り組みを強化したい。
- ・ 味真野茶保存会の設立
平成 23 年 3 月 12 日に、昨年実行委員会の中で討議を重ね、設立されました。自治振興会・区長会・観光協会・一般に参加を呼びかけました結果 60 名の会員として発足しました。今後も、味真野茶に関する伝統的な茶文化を残していくように努めます。
- ・ 味真野茶もみ唄練習会の継続
味真野茶もみ唄の練習を月 2 回実施し、地区内のイベントに参加して、練習の成果を発表してきました。練習会員は 25 名となりました。
- ・ お茶の飲み方講座の開催
5 月・6 月と 2 回、大野市より日本茶インストラクターの五井美紀先生から、お茶の美味しい出し方などを教わりました。
参加者は、2 回で 100 名の皆様でした。

ロ、味真野茶もみ唄全国コンクールの開催

味真野で歌われていた素晴らしい唄を全国発信するため、10 月 3 日全国コンクールを今立芸術館で開催しました。

県内外より、105名の方に出場していただき、すばらしい歌声を披露されました。味真野地区より、10名が出場し、2名が予選を通過され日頃の練習の成果をおおいに発揮していました。

ハ、ギャラリー「窓」実行委員会のギャラリー事業の支援や、地域内での事業に、今年も支援します。

② 味真野再発見の発刊事業

味真野の歴史についての小冊子を今年も作成し、全戸配布しました。

③ 文化祭事業

地区民と公民館自主講座の発表の場として、文化事業の発表の場として、味真野小学校で文化祭を10月30日31日に実施しました。

参加者は、出演者も含め300名でした。

今後も、文化等の意識の高揚と交流をさらに深めていきます。

青少年育成部

① のびのび合宿体験事業。

味真野公民館で、「いのち」をテーマに、3年生から6年生まで、親元を離れて、三泊四日の通常の生活を行う子供たちにとっては、大変貴重な体験を多くのボランティアの皆さんの協力で実施しました。

子供26名 青少年育成部員12名 ボランティア90名(延べ人数)

② かるた大会支援事業

カルタの競技に興味を持ってもらうため、地区大会・越前市子供会かるた大会を支援してきました。地区カルタ大会13名、市カルタ大会10名参加しました。

③ 青少年標語募集事業

味小の児童を対象にテーマ「ありがとう」で、標語募集をおこない、全児童296名が参加し、20名を優秀賞として、ふるさとづくり大会にて表彰し、展示発表をしました。

④ 子供110番の家推進事業

子供110番の家拡大推進と、不審者(車)などに対する情報を共有し、子供の安全と安心を図りましたが、7月8月の夏休み中に不審者が児童に声をかける事案があり、注意看板を設置しました。また、同種の看板を増設作成し、設置と注意喚起を行っています。

⑤ 地域とびだしふれあい事業

地域と住民にふれあう活動を通じて、地域に誇りと愛着の心がもてる青少年を育てるため、地域住民と共に野外活動等を行う予定でしたが、雨や猛暑でそばの種まきやそばの取り入れ等の体験ができませんでした。しかし、ふるさとづくり大会での親子でそば打ち体験には、21組の親子が参加をしました。

健康福祉部

① 味真野ふれあい健康まつり事業

10月17日に、元気さわやか味真野つくりをテーマにイベントを開催しました。地区民の健康啓発を行い、健康チェックや体操などをおこなったり、野菜のたっぷり入った豚汁をふるまいました。3歳児の虫歯のない健康優良児の表彰も行いました。170名の地区民の皆さんが参加しました。今後も、地区民の健康に対する意識の向上に取り組みます。

② 健康食講習会

一年間を通して、各町内の公民館で食による健康をPRし料理教室も開催し、地区民の健康推進を図ってきました。健康食普及のため、親子や男性を対象とした教室も一回開催しました。7町内5グループで150名の皆さんに参加していただきました。

③ 歩け歩け大会

22.5.4に万葉祭り協賛行事事業としておこない、地区民の健康増進や、住民同士のあれあいウォークと、郷土歴史を知るためのコースで実施しました。

(健康トライ事業のポイント) ゴール時に健康茶を振舞いました。

参加者数は、保育園児から、お年寄りまで75人で、今後の課題として参加者の増員を検討します。

④ 食事慰問

3月13日独居老人や、お年寄り夫婦を対象に77名の方々に、配食サービス慰問で安否とふれあい事業を行いました。

弁当づくりは、かせ田先生を中心に15名の皆さんのご尽力を頂いて作りました。

又、配達慰問は、民生児童委員の皆さんの協力で無事終了しました。

⑤ 健康診断受診率アップPR事業

6月9.10.11日行われた、味真野地区の健康診断に合わせて、問診表記入・会場の誘導・飲み物配布等の補助作業を行いました。たくさんの方が受診をされましたが、歯科検診が知られておらず、今後PRが必要です。

部員11名が対応にあたり、1005名の方が受診されました。

⑥ 地区スポーツ事業

地区体育祭に対して支援やスポーツ事業による健康増進を推進しました。

安全防災部

① 安全防災環境整備事業

今年度も、日本各地で凶悪事件が発生しています。このことから、地域内の安全な地域をつくる一環として、車に取り付けられる「防犯パトロール」マグネットステッカー50枚を作成しました。

② 防災訓練事業

今年度は、味真野地区が防火防災のモデル地区に指定を受け、越前市の防災訓練に協力し、各町内より50名参加をしてきました。

また、味真野地区の防災・避難訓練については実施を見送りました。

③ 安全安心啓発活動事業

地域の事業を交通・防犯・消防・防災の面で協力支援を行ってきました。

今年度も、味真野小学校新入生に防犯ブザーを44個配布し、生徒の通学時の安全を図ってきました。

みどり・環境部

① 四中跡地再利用事業(四季彩苑)

四中跡地の再利用として、そばを蒔いて収穫し、各種イベント等におろしそばとして利用してきました。

4月に耕して整地し、6月に雑草を部員等で草刈り、8月に再度整地して種を蒔き10月収穫。12月の試食会には30名、また体験学習では、2月のふるさとづくり大会では親子でそば打ち体験に30名が参加し、300食を振舞いました。

② 生ごみ再資源事業

今年も、菟脇町・宮谷町の住民の方より生ごみを収集し、有機肥料を作ってきました。一部は、一般堆肥として販売しましたが、来年度は専用の袋を用意しそれをシーリングするため、シーラー機を購入しました。又その有機肥料を使って、大根を栽培し販売を行ってきました。まだまだ、人手が足りず栽培として、大きい事業としては取り組みませんが、今後も努力を行っていきます。

③ コスモスカナ街道整備事業

今年も、菅生武生線の環境美化と道路景観の向上を図るため、カナ植栽事業に取り組み、通行者及び地区住民の癒し空間を作りました。

残念ながら、6月コスモス街道としては、歩道造成もあり実施できませんでした。

④ 文室川堤防・桜並木の整備事業

地区壮年会と共同作業で行いました。6月と10月の2回桜並木の保存として、枝の刈り込みや、土手の下草刈を実施してきました。70人の参加でした。

⑤ ビオトープづくり「ホタルの里作り」事業

6月20日にホタルの観察会を実施し、同時にホタルに関しての紙芝居を行いホタルについてより深く知ることが出来ました。

参加者は大人30名子供20名でした。

また、味真野地区の地図を用意して、ホタルの発見場所に印をつけて、ホタルのマップをつくりました。

⑥ みどり・自然の保存事業

みどりと水などの保存・保全を行ないました。

味真野小学校の桜の育成保存事業として、タマリユウ 3000株を植栽し、育成保存の維持に努めてまいりました。

又、水環境の保全として、蓑脇町の時水の遊歩道修復として、安全に歩くため遊歩道の整備を 19 名の参加者で行いました。

⑦ 花いっぱい事業

5 月 23 日に玉菊の苗を配布し、コンテストを秋の文化祭時に 32 名の出品で実施しました。またノッポヒマワリの種を公民館来訪者に配布し、8 月 7 日に測定を行いました。一般の部 22 名子供の部 4 名の測定を行い、秋の文化祭に表彰を行いました。

歴史・観光部

① あじまの万葉祭り事業

22 年 5 月 3 日(日)、4 日(月)味真野万葉まつり実行委員会と共催で実施。

地区の最大の祭りとして、万葉時代を再現した行列と保育園児・幼稚園児のパレード及び武者行列は、朝倉遺跡保存会・滋賀県の小谷城の友情参加いただきました。

味真野地区の物産の販売、地区民の交流と歴史観光の PR を行いました。内外の参加者は、約 6,000 人以上でたくさんの皆さんに楽しんでいただきました。

② 夜間景観ライトアップ事業

地区の特別天然記念物である小学校の桜をライトアップし、味真野の PR と、地区の魅力的資源を再確認し、保存活動をおこないました。

第 8 回「ライト de 舞桜花」は、実施期間を 4/3 より 4/13 まで行い点灯式を 4 月 11 日 18 時 30 分より実施しましたが、式の途中で雨が降り出しイベントは、小学校の体育館で行い、見学者が心配されましたが、110 名の皆様にみていただきました。イベントとして、子供・仁愛大のよさこい踊りと、味真野茶もみ唄の発表を行いました。

今年は、この期間中天候に恵まれ、たくさんの見学者で賑わいました。

保存活動は、根元にタマリユウを 3000 株植栽した。

③ 鎧づくり講習会実施事業

今年も第 7 期味真野甲冑教室を、指導員 4 名と生徒は地区内 3 名地区外 8 名の参加を得て、年間を通じ開催し、戦国時代の武将、真柄十郎左衛門や佐々成政の鎧と兜の再現に取り組みました。

又、これまで作ってきた鎧は、万葉祭りの参加や福井祭りの時代行列など地域外の各種イベントに参加し、味真野地区の歴史の PR や交流を行いました。

④ 味真野名所旧跡のデジタル化推進事業

味真野地区内に点在する神社・仏閣・地蔵、名所旧跡などの歴史的な文化財をデジタル化する作業をすすめています。出来た資料については、順次地域のイベント開催時公民館・菊花園等で公開の予定です。

デジタル化作業は、現在10名の部員で進めています。

⑤ 味真野観光施設整備事業

味真野観光遊歩道の整備として、「水の道」を治佐川から興徳時まで約500mの延長を10名で行いました。

また、みどり・環境部との共同事業で、時水登山道の整備に参加したり、越前の里の継体天皇像周辺に植栽した彼岸花へ、追肥の管理を5名で実施しました。

⑥ あじまの再発見展

地区内で取り組んだ事業やお宝を展示紹介する事業ですが、今年は菊花園で、味真野地区にかかわる昭和の写真、万葉歌詞、お茶の出来る工程・道具などを3月12日より展示し味真野地区の魅力を地区内外に発信しました。

⑦ 菊・地球博 事業

10月10日に地域の若者と仁愛大学の学生がつどい、菊花園・越前の里を利用し、若者だけで企画構成し地域内外の若者に万葉ロマンを発信しました。

300人の皆様に、楽しんでいただきました。

⑧ 味真野特産品を考える事業

味真野地区の特産品として、味真野茶を入れたクッキーやそば(200ヶ)等を試験販売しました。今後も研究していきます。

地域部

① 町内花壇

町内の花壇美化運動の支援事業として取り組みました。

具体的には、花壇美化活動を推進する町内に、経費の半分(最高1万円)を支援し、12町内が活動を実施しました。

② クリーン大作戦事業

越前市の市民雪解けクリーン大作戦として、各町内が実施し、その支援として各町内のチラシ作成、土のう袋、透明ゴミ袋の支給、汚泥の仮置き場の設置などを行いました。各町内の美化環境支援することにより、生活環境の向上に寄与しました。

③ 地域整備事業

市や公共機関が対応の困難な住民要求に対応するため、昨年に引き続き取り組みました。以下の記述に沿って経費の1/2(最高10万円)を支援しました。狭隘道路や水路の補修・安全防护柵の設置・町内案内看板・掲示板などの設置補修・ゴミステーションの整備・分別の啓蒙看板などが対象となります。22年度分については、8件の事業が実行されました。

④ 武衛山登山道整備事業

昨年整備された登山道の維持活動として、登山道の補修や倒木の整備を80名の参加者で実施しました。また、小学生が作成し取り付けした看板等の確認もおこないました。
のろし駅伝の活動の一環としても、今後も支援していきます。

事務局. 広報委員会

① 自治振興基本事務事業

地区防犯灯電気料負担	22年10月支払額	1,203,999円
防犯灯設置事業(町内依頼分)		47,437円
町内除雪交付金	23年3月支払額	2,774,000円

② 自治振興会事務局事業

振興会の運営に関する事業 通信. 印刷. 保険
広報に関する事業 事務局手当
今年度、手当支給規定を作成し、理事会で協議します。

③ 実行員会事業

◎ 納涼祭事業

今年は、7月31日土曜日 味真野地区の各種団体の共催事業として、味真野地域住民の親睦、ふれあい交流の場として実施しました。
今年の流しソーメンの企画は、各町内より2名の女性協力者をお願いし実施し盛り上げていただきました。
お祭り広場の舞台がなくなつての納涼祭でしたが、トラックステージの有効活用と、懸賞盆踊りではたくさんの踊り手で盛り上がりました。
特に子供達の参加が多く総参加人数は、500人以上でした。

◎ ふるさとづくり大会

2月20日に「家族の和・地域の輪 みんなで明るいまちづくり」をテーマに掲げて地域住民の交流の場として実施しました。
公民館とミニ体育館で各種団体の協力を頂きながら共催事業をおこないました。
今年は、講堂のイベントで「お笑いSHOW」で創作落語の一期亭一笑さんに出演を依頼し、大いに笑いを楽しんでいただきました。

他のイベントは、例年通り実施しました。参加者は、170人でした。

◎ 越前サマーフェスティバルふるさと踊り参加事業

8月13日開催されたふるさと踊りに、味真野地区は久しぶりに浴衣を着て参加しました。味真野地区のPRと市民相互の親睦を図りました。

今年は、山車参加を見送ったため、男子の踊り手の参加を非常に心配しましたが、練習時より多くの参加がありました。今年度も、あいにくの小雨の中、元気で踊っていただいて、ユーモア賞を獲得しました。参加者数は、女子72名男子43名補助員6名留守隊4名でした。

◎ 河川清掃

今年も、地域をつなぐ河川環境づくり推進するための事業として関係町内で実施していただきました。

1級河川が対象で、鞍谷川、浅水川の草刈、清掃などが対象です。

今年は、文室町が実施しているにもかかわらず、交付金の対象になっていないので、事情説明後理事会で了承され交付金の対象としました。

平成22年度 味真野自治振興会 決算表

23-3月末締

【収入の部】

項目	21年度決算	22年度予算	変更後予算	期末残高	
前年度繰越金	357,937	600,544		600,544	
市交付金	8,426,000	7,791,000	9,180,000	9,173,000	
協賛金・協力金	1,138,000	1,000,000	1,110,000	1,104,000	万葉まつり100万 ふるさと踊り6万 その他4万
助成金	1,530,000	1,340,000	1,400,000	1,400,000	区長会分124万 内訳(体協分40万 万葉まつり30万 文協10万 振興会へ30万 夏祭り3.5 万 花壇10.5万)社協10万 市育成部6万
事業収入金 1	257,450	210,000	420,000	412,930	カルタ ライトアップ 鑑 会費 そば売り上等
事業収入金 2	427,032	400,000	720,000	714,925	地域施設整備事業各町内負担金
雑収入	209,614	170,000	280,000	276,042	夏祭り参加I 賞金金 研修会 堆肥売り上げ
特別事業(武衛山山道整備)	700,000	0			
河川一掃	261,100	260,000	270,000	261,100	
合計	13,307,133	11,771,544		13,942,541	

単位 円

【支出の部】

部	基本方針	事業名	21年度決算	22年度予算	変更後予算	22年度決算
文化 教養部	と 万葉の文化に 愛をはぐくむ人づくり	芸能、歌謡などの発掘と記録保存	150,025	0		
		味真野万葉の歌の普及	132,300	0		
		味真野の文化の振興事業	0	270,000	290,000	
		①茶文化振興事業	0			93,260
		②茶もみ唄全国コンクール開催	0			156,985
		③ギャラリー窓支援事業	0			33,862
		味真野再発見の発刊	129,412	130,000		114,975
		文化祭事業	244,602	280,000	290,000	286,925
青少年 育成部	真健 野やかに まち子に 明るく 育てる 味	のびのび合宿事業	81,340	90,000		36,979
		かるた大会支援事業	37,412	40,000		39,505
		青少年標語募集事業	56,233	60,000		41,760
		子供110番の家推進事業	31,543	20,000	30,000	25,200
		地域ふれあいとびだし	48,277	60,000		45,527
健康 福祉部	一 人ひとりが 健康で できる コミュニ	味真野ふれあい健康まつり事業	61,563	70,000		30,621
		健康食講習会	50,085	50,000		48,412
		歩け歩け大会	29,978	30,000		15,028
		食事慰問	36,669	50,000		46,750
		健康診断受診率アップPR事業	6,076	20,000		4,518
		地区スポーツ事業	498,932	500,000	520,000	511,450

安全 防災部	まちづくり 安全で安心な 地域をみんな でつくる	安全・防災環境整備事業	151,977	150,000		106,572	
		防災訓練事業	42,593	100,000		42,811	
		安全安心啓発活動	69,920	70,000		48,400	
みどり・ 環境部	花と緑に めるまちづくり ふれあい環境美 化に努	四中跡地再利用事業	121,254	130,000	150,000	145,065	
		生ごみ再資源事業	216,385	250,000		198,580	
		コスモス・カンナ街道整備事業	21,570	20,000		5,590	
		文室川堤防 桜並木の整備事業	10,635	30,000	40,000	35,888	
		ホテルの里づくり事業	27,155	20,000		8,865	
		みどり・自然の保存事業	134,000	200,000		194,846	味小桜 時水事業
		花いっぱい事業	62,620	70,000		69,727	
歴史・ 観光部	万葉の香 りた だよう まち づくり	あじまの万葉まつり事業	2,386,312	2,300,000	2,370,000	2,368,050	
		夜間景観ライトアップ事業	83,582	90,000	125,000	123,300	
		味真野特産物を考える事業		10,000		700	
		鎧づくり講習会実施事業	218,387	200,000	320,000	311,627	
		味真野名所旧跡のデジタル化推進事業	1,790	50,000		25,789	
		味真野観光施設整備事業	58,050	20,000	30,000	29,257	
		味真野再発見展	14,555	5,000		0	
		万葉のタベ・菊・地球博	250,099	200,000		199,954	
地域部	明る いまち づくり	町内花壇	249,760	210,000		82,340	
		味真野クリーンアップ作戦	21,790	15,000	30,000	21,925	
		武衛山道維持事業		100,000		65,960	
		地域施設整備	829,982	800,000	1,110,000	1,104,470	
		小 計	6,566,863	6,710,000		6,721,473	
事務局	地区自治基本事務事業	3,240,288	2,646,000	3,890,000	3,883,706		
	自治振興会事務局事務	1,102,030	1,305,544	1,610,544	1,332,942		
事務局・実行委員会	納涼祭事業	156,534	300,000		205,690		
	ふるさとづくり大会事業	145,110	200,000		182,093		
	たけふ夏まつりふるさと踊り	354,542	350,000		311,124		
	武衛山山道 整備事業	883,816	0				
	小 計	5,882,320	4,801,544		5,915,555		
	河川一掃事業	257,406	260,000	270,000	261,100		
	合 計	12,706,589	11,771,544		12,898,128		

差し引き繰越金 600,544 0 1,044,413

収入合計 支出合計 現在残高(繰越金)

13,942,541- 12,898,128= 1,044,413

自己財源比率

項 目	22年度予算	22年度決算
前年度繰越金		
市交付金	7,791,000	9,173,000
特別交付金		
自己財源		
協賛金	1,110,000	1,104,000
助成金	1,400,000	1,400,000
事業収入金 1	420,000	412,930
事業収入金 2	720,000	714,925
雑収入	280,000	276,042
	3,930,000	3,907,897
自己財源比率	33.53%	29.87%

監 査 報 告 書


下記の事項に関して、監査を実施いたしましたので報告いたします。


記


1. 平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日までの味真野自治振興会事業実施に当たり、各事業が適正に実施されたか。
2. 各事業実施に当たり、事業計画・請求書・領収書等付属書類が適正に整備されているか。
3. 事業費の入金及び出金は、所定の手続きを得て処理されているか。
4. 印章・預金通帳及び関係会計諸帳簿の記載及び保管は、適正にされているか。
5. 各諸帳簿の決裁手続きは、適正になされているか。
6. 備品購入後、備品台帳に記載し備品管理を適正に行っているか。
7. その他受付文書・発送文書の諸手続き及び会議録等自治振興会運営における関係書類の保管は、適正になされているか。

以上の項目に関して、監査を実施いたしました。




平成 23 年 4 月 9 日

監事 松村豊和 

監事 前田政喜 

監事 高野宏明 

意見書

監事 松村豊和 
監事 前田政喜 
監事 高野宏明 

平成 23 年 4 月 9 日 味真野自治振興会の事業運営並びに、会計監査を実施いたしましたので、それに関する意見書は下記のとおりであります。

記

1. 平成 22 年 4 月 1 日より平成 23 年 3 月 31 日までの、味真野自治振興会事業が適正に実施されていた。
2. 各事業実施に当たり、事業計画・請求書・領収書等付属書類は適正に整備されていた。
3. 事業費の入金及び出金は、所定の手続きを得て処理されていた。
4. 印章・預金通帳及び関係会計諸帳簿の記載及び保管は、適正になされていた。
5. 各諸帳簿の記載及び保管は、適正になされていた。
6. 備品台帳の記載及び保管は、適正になされていた。
7. その他受付文書・発送文書の諸手続き及び会議録等自治振興会運営における関係書類は、適正になされていた。
8. 預金通帳の残高は、元帳と一致していた。

以上

第二号議案

平成 23 年度 事業計画書(案)

文化教養部

① 味真野の文化の振興事業

イ、味真野地区内における、昔からの「味真野茶」の文化に関する事業に取り組めます。具体的には

- ・味真野とお茶の歴史の広報
- ・お茶摘み、お茶もみ体験事業
- ・特産品の開発、試食、販売
- ・味真野茶保存会の設立
- ・味真野茶もみ唄練習会の継続
- ・お茶の飲み方講座の開催

ロ、味真野茶もみ唄全国コンクールの開催

味真野で歌われていた素晴らしい唄を全国発信します。

ハ、ギャラリー「窓」実行委員会のギャラリー事業の支援

地域内での事業に、今年も支援します。

② 味真野再発見の発刊事業

味真野の歴史についての情報発信誌の発刊します

③ 文化祭事業

地区民に文化事業の発表の場を設け、意識の高揚と交流を深め、公民館自主講座の発表の場を設ける。

青少年育成部

① のびのび合宿体験事業。

身近な地域の公民館で、異年齢集団による宿泊体験を通して、次世代のリーダー発掘と育成。

② かるた大会支援事業

越前市子供会かるた大会に備えて、地区かるた大会支援します。

③ 青少年標語募集事業

味小の生徒を対象に青少年標語募集をおこない、青少年の健全育成を推進します。ふるさとづくり大会にて表彰し、展示発表をいたします。

③ 子供110番の家推進事業

子供110番の家拡大推進と、不審者(車)などに対する情報を共有し、子供の安全と安心を図ります。

④ 地域とびだしふれあい事業

地域と住民にふれあう活動を通じて、地域に誇りと愛着の心がもてる青少年を育てるため、地域住民と共に野外活動等を行います。

健康福祉部

① 味真野ふれあい健康まつり事業

健康をテーマにイベントを開催し、地区民の健康啓発を行い、地区民の健康に対する意識の向上に取り組みます。

② 健康食講習会

食による健康をPRし、地区民の健康推進を図ります。
健康食普及のため、親子や男性を対象とした料理教室も開催します。

③ 歩け歩け大会

23.5.4 に万葉祭り協賛行事事業としておこない、地区民の健康増進や、住民同士のあれあいフオークで郷土を再発見に取り組みます。
(健康トライ事業のポイント) ゴール時に健康茶を振舞います。

④ 食事慰問

一人暮らし、高齢者の配食サービス慰問で安否とふれあい事業を行います。

⑤ 健康診断受診率アップ PR 事業

健康食の試食により、食の改善事業や受診率のアップのための、PR をおこないます。

⑥ 地区スポーツ事業

地区体育祭に対して支援やスポーツ事業による健康増進を推進します。

安全防災部

① 安全防災環境整備事業

外灯(通学路防犯等)設置や危険看板の設置、回転灯の設置など、又今年度は安全防災関係で地区間の連絡無線の設置を検討します。

② 防災訓練事業

今年度は、味真野地区の防災・避難訓練は実施しませんが、防火防災のためのPRを行っていきます。

③ 安全安心啓発活動事業

交通.防犯.消防.防災の面での各団体がおこなう啓発活動の支援や、地区民の安全安心のための啓発活動をおこない安全なまちづくりを目指します。

味真野小学校新入生に防犯ブザーを配布し、生徒の安全を図ります。

みどり・環境部

① 四中跡地再利用事業(四季彩苑)

地域住民の交流、憩いの場を提供し、花と緑と自然に親しみ、豊かな心を養う事業を行います。

体験学習で、高齢者・親子でそば農園体験事業に取り組みます。

② 生ごみ再資源事業

生ごみの一般堆肥による、人体にやさしい有機栽培で地産地消の推進を図り、楽しく働ける場所を提供します。

③ コスモスカンナ街道整備事業

菅生武生線の環境美化と道路景観の向上を図ることにより、通行者及び地区住民の癒し空間を作ります。

④ 文室川堤防・桜並木の整備事業

地区壮年会と共同作業で行います。

6月と11月の2回桜並木の保存と草刈を実施します。

⑤ ビオトープづくり「ホタルの里作り」事業

美しい水を守り、子供と憩える場所づくり。整備とほたる観賞会の実施。

⑥ みどり・自然の保存事業

みどりと水などの保存・保全を行ないます。

具体的には、味真野小学校の桜の育成保存事業と、越前の里にある水芭蕉周辺の設備整備を事業として支援します。

また、水環境の保全として、蓑脇町の時水に関する事業を支援します。

⑦ 花いっぱい事業

今年も、玉菊の苗提供と栽培コンテストの実施、ノッポヒマワリの種配布と、コンテストの実施し、文化祭で表彰します。

歴史・観光部

① 鎧づくり講習会実施事業

第7期味真野甲冑教室を開催する。真柄十郎左衛門や佐々成政などが活躍した時代の鎧と兜を手作りで作成し、各種イベントに参加し、味真野の歴史をPRします。

② 味真野名所旧跡のデジタル化推進事業

味真野地区内に点在する神社、仏閣、地蔵、名所旧跡などの歴史的な文化財をデジタル化します。

③ 味真野観光施設整備事業

味真野観光看板と味真野観光遊歩道の修繕・整備を行います。

④ あじまの再発見展

地区内で取り組んだ事業やお宝を展示紹介し、味真野の魅力を地区内外に発信します。

⑤ 菊・地球博 事業

地域の若者を中心に、地区の宝をもっと多くの方に知ってもらおうと共に、越前市の花である菊をPRし、子供から大人まで楽しめる事業に取り組みます。

⑥ 味真野特産品を考える事業

味真野地区の特産品について、これまでの取り組みを総括し、新しい特産品の開発につながる研究を行います。

地域部

① 町内花壇

昨年より、たけふ花と緑の会の事業が無くなったため、地域部として各町内の花壇美化運動の支援事業を取り組みます。具体的には、花壇美化活動を推進するため町内に、経費の半分(最高1万円)を支援します

② クリーン大作戦事業

越前市の市民雪解けクリーン大作戦に参加するための、支援をおこないます。各地区内の美化環境支援することにより、生活環境の向上に寄与します。各町内のチラシ作成、土のう袋、透明袋の配布、汚泥の仮置き場の設置

③ 地域整備事業

市や公共機関が対応の困難な住民要求に対応するため、引き続き取り組みます。経費の1/2(最高10万円)を支援します。

狹隘道路や水路の補修。

安全防護柵の設置。

町内案内看板・掲示板などの設置補修。

ゴミステーションの整備。分別の啓蒙看板。

④ 武衛山登山道整備事業

昨年整備された登山道維持活動として補修や倒木の整備をします。

また、小学生の作成取り付け看板等の確認作業を行います。

事務局. 広報委員会

① 自治振興基本事務事業

地区防犯灯電気料負担	23年10月支払予定	暫定額	1,204,000円
防犯灯設置事業	(各町内依頼分)		50,000円
町内除雪交付金	24年3月支払予定	暫定額	520,000円

② 自治振興会事務局事業

振興会の運営に関する事業 通信、印刷、保険
広報に関する事業 事務局手当

③ 事務局実行委員会事業

◎ あじまの万葉祭り事業

5月3日、4日味真野万葉まつり実行委員会の共催事業として実施します。地区の最大の祭りとして、万葉時代を再現した行列とパレード・武者行列を実施することで、地区民の交流と歴史観光のPRを地区内外に行います。

◎ 夜間景観ライトアップ事業

地区の特別天然記念物である小学校の桜をライトアップし、味真野のPRと、地区の魅力的資源を再確認し、保存活動に結びつけます。

第9回「ライトde舞桜花」のライトアップ実施期間は、4/2より4/16
点灯式は、4月10日18時30分より実施します。

今年のイベントとして、子供たちによる「書道パフォーマンス」や、今年も子供・仁愛大のよさこい踊りを予定します。

またメインイベントとして、味真野小学校の校庭のさくらの前でプロモーションDVDを作った、関西で人気のある「シカゴプードル」グループのミニコンサートをを行います。

◎ 納涼祭事業

地域住民の親睦、ふれあい交流の事業として実施します。

事務局、区長会、女性会、壮年会、青年団、公民館、各種団体共催事業
7月30日土曜日実施予定

◎ ふるさとづくり大会

地域の課題について考える。地域住民の交流の場。

区長会、公民館、女性会、壮年会、青年団、各種団体共催事業
24年2月第三日曜日開催予定

◎ 越前サマーフェスティバルふるさと踊り参加事業

23年8月13日開催予定、2回練習日を予定しています。

越前市夏祭りに参加し味真野地区のPRと市民相互の親睦を図ります。
継体天皇山車参加の予定と、地域住民の総参加を予定しています。

区長会・振興会・観光協会・越前市商工会味真野支部・壮年会
女性会等各種団体のご協力ご尽力をお願いします。

④ 河川清掃

地域をつなぐ河川環境づくり推進事業の取りまとめと支援をおこなう。

1級河川が対象。鞍谷川、浅水川の草刈、清掃など河川美化を図ります。

平成23年度 味真野自治振興会 予算(案)

【収入の部】

項 目	22年度予算	22年度決算	23年度予算	
前年度繰越金	600,544	600,544	1,044,413	
市交付金	9,180,000	9,173,000	6,933,000	
協賛金・協力金	1,110,000	1,104,000	1,110,000	万葉まつり100万 ふるさと踊り7万 その他4万
助成金	1,400,000	1,400,000	1,300,000	区長会分114万 内訳(体協分40万 万葉まつり30万 文協10万 振興会へ20万 夏祭り3.5万 花壇10.5万)社協10万 市育成部6万
事業収入金 1	420,000	412,930	200,000	カルタ ライトアップ 鑑教室 そば 堆肥等
事業収入金 2	720,000	714,925	400,000	地域施設整備事業各町内負担金
雑収入	280,000	276,042	170,000	夏祭り参加15万 賞金2万
河川清掃	270,000	261,100	255,000	河川清掃(植樹)
合 計	13,980,544	13,942,541	11,412,413	

単位 円

【支出の部】

部	基本方針	事業名	22年度予算	22年度決算	23年度予算	
文化 教養 部	の万葉の文化に触れ、郷土への誇りと文化に愛をはぐくむ人づくり	味真野の文化の振興事業	290,000		270,000	
		①茶文化振興事業		93,260		
		②茶もみ唄全国コンクール開催		156,985		
		③キャリア窓支援事業		33,862		
		味真野再発見の発刊	130,000	114,975	130,000	冊子の全戸配布
		文化祭事業	290,000	286,925	280,000	
青少 年育 成部	野健っやかに明るい、味真の子育てるまちづくり	のびのび合宿事業	90,000	36,979	90,000	
		かるた大会支援事業	40,000	39,505	40,000	
		青少年標語募集事業	60,000	41,760	60,000	
		子供110番の家推進事業	30,000	25,200	20,000	
		地域ふれあいとびだし	60,000	45,527	60,000	
健康 福祉 部	のケ一人ひとりが健康で暮らせるまちづくり	味真野ふれあい健康まつり事業	70,000	30,621	70,000	
		健康食講習会	50,000	48,412	50,000	
		歩け歩け大会	30,000	15,028	30,000	
		食事慰問	50,000	46,750	50,000	
		健康診断受診率アップPR事業	20,000	4,518	20,000	
		地区スポーツ事業	520,000	511,450	500,000	

安全 防災部	まちづくり 安全で安心な 地域をみんな でつくる	安全・防災環境整備事業	150,000	106,572	200,000	
		防災訓練事業	100,000	42,811	40,000	
		安全安心啓発活動	70,000	48,400	70,000	
みどり 環境部	花と緑に ふれあい環境美 化に努 めるまちづくり	四中跡地再利用事業	150,000	145,065	150,000	
		生ごみ再資源事業	250,000	198,580	200,000	
		コスモス・カンナ街道整備事業	20,000	5,590	10,000	
		文室川堤防 桜並木の整備事業	40,000	35,888	50,000	
		ホテルの里づくり事業	20,000	8,865	20,000	
		みどり. 自然の保存事業	200,000	194,846	200,000	味小桜10万 時水事業10万
		花いっぱい事業	70,000	69,727	70,000	
歴史 観光部	万葉の香りを つくりだよう まち	味真野特産物を考える事業	10,000	700	10,000	
		鎧づくり講習会実施事業	320,000	311,627	100,000	
		味真野名所旧跡のデジタル化推進事業	50,000	25,789	50,000	
		味真野観光施設整備事業	30,000	29,257	50,000	
		味真野再発見展	5,000	0	10,000	
		万葉のタベ・菊・地球博	200,000	199,954	200,000	
地域部	明るいまち づくり	町内花壇	210,000	82,340	210,000	実施町内へ
		味真野クリーンアップ作戦	30,000	21,925	25,000	土のう ゴミ袋 コピー代
		武衛山道維持事業	100,000	65,960	100,000	
		地域施設整備	1,110,000	1,104,470	800,000	町内整備事業1/2町内負担
		小 計	4,865,000	4,230,123	4,235,000	
事務局		地区自治基本事務事業	3,890,000	3,883,706	1,774,000	防犯灯電気代120.4万・除雪52万 防犯灯新設5万
		自治振興会事務局事務	1,610,544	1,332,942	1,698,413	自治連合会費 事務費 通信費 コ ピー代 手当て
		あじまの万葉まつり事業	2,370,000	2,368,050	2,300,000	
		夜間景観ライトアップ事業	125,000	123,300	300,000	
事務局・実行委員会		納涼祭事業	300,000	205,690	300,000	
		ふるさとづくり大会事業	200,000	182,093	200,000	
		たけふ夏まつりふるさと踊り	350,000	311,124	350,000	
					0	
		小 計	8,845,544	8,406,905	6,922,413	
		河川清掃事業	270,000	261,100	255,000	
		合 計	13,980,544	12,898,128	11,412,413	

差し引き繰越金

1,044,413

0

自己財源比率

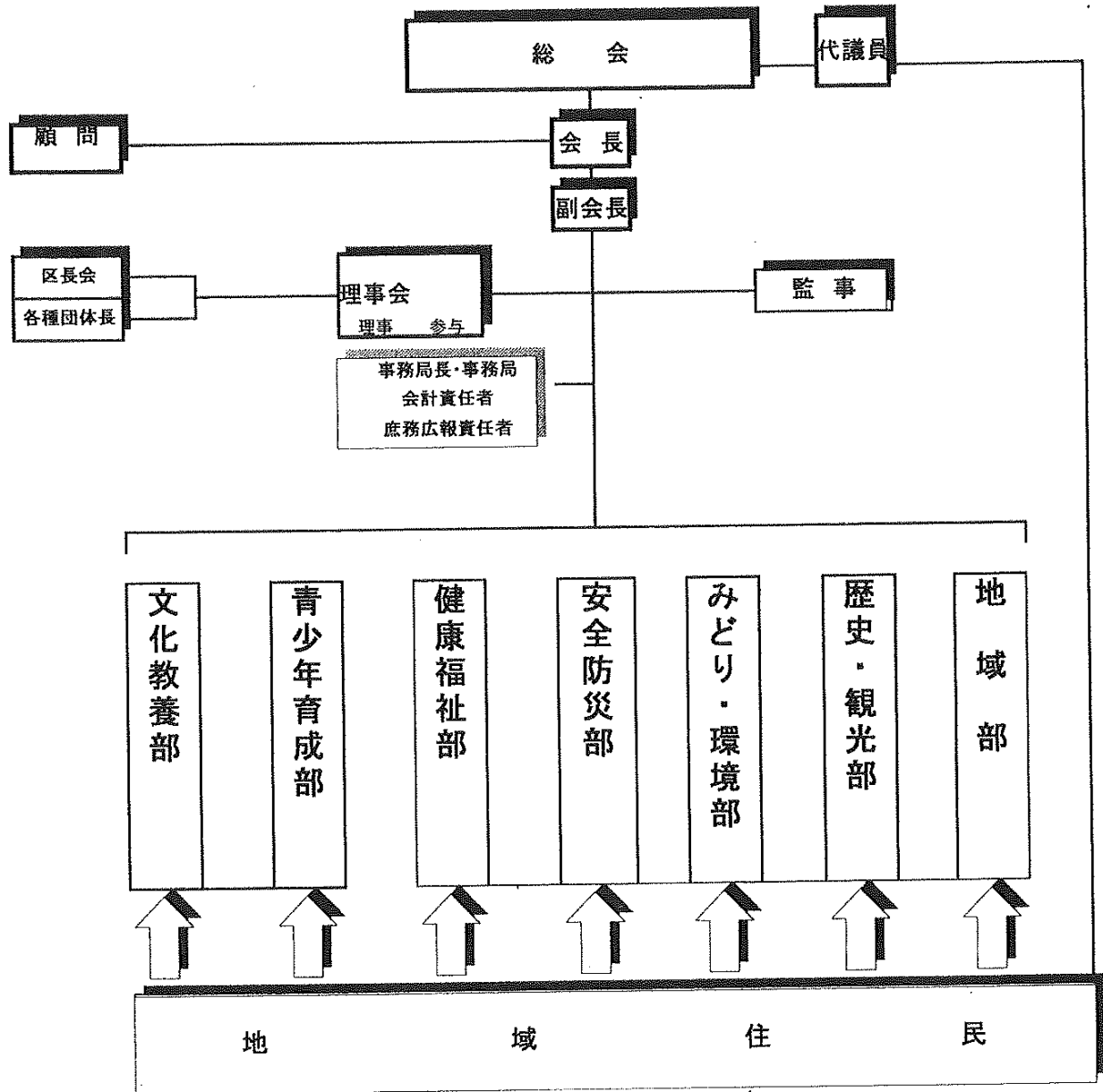
項 目	22年度予算	22年度決算	23年度予算
前年度繰越金			
市交付金	7,791,000	9,173,000	6,933,000
特別交付金			
自己財源			
協賛金	1,110,000	1,104,000	1,110,000
助成金	1,400,000	1,400,000	1,300,000
事業収入金 1	420,000	412,930	200,000
事業収入金 2	720,000	714,925	400,000
雑収入	280,000	276,042	170,000
	3,930,000	3,907,897	3,180,000
自己財源比率⑥	33.53%	29.87%	31.44%

23年度 役員改選(案)

敬称略

役職・部名	選出基準	職名	22年度役員	23年度役員(案)
会長	理事会推薦にて総会承認	会長	玉村 泉	玉 村 泉
副会長	理事会推薦にて総会承認	副会長	谷崎 清海	谷 崎 清 海
副会長	理事会推薦にて総会承認	副会長	上山 明	坂 井 俊 也
副会長	理事会推薦にて総会承認	副会長	鈴木 知恵子	鈴 木 知 恵 子
副会長	理事会推薦にて総会承認	副会長	福岡 忠則	福 岡 忠 則
参与	公民館長	参 与	中野 博美	中 野 博 美
理事	区長会	理 事	光川 勝司	前 田 政 喜
理事	区長会	理 事	宮本 重治	川 崎 敬 二
理事	区長会	理 事	野川 幹夫	野 川 幹 夫
文化教養部	部員の互選	部 長	高木 幸雄	
青少年育成部	部員の互選	部 長	帰山 治和	
健康福祉部	部員の互選	部 長	本多 一男	
安全防災部	部員の互選	部 長	酒田 昭栄	
みどり・環境部	部員の互選	部 長	山口 光徳	
歴史・観光部	部員の互選	部 長	西野 志郎	
地域部	部員の互選	部 長	紙屋 仲右工門	
会計責任者	理事会の承認を得て会長指名	会計責任者	梅田 幸雄	梅 田 幸 雄
事務局	理事会の承認を得て会長指名	事務局長	大塚 良治	大 塚 良 治
庶務広報責任者	理事会の承認を得て会長指名	広報責任者	三田村範幸	三 田 村 範 幸
事務局	会長が委嘱	事務局委員	山本 秀樹	山 本 秀 樹
事務局	会長が委嘱	事務局委員	斉藤 治	上 山 房 子
事務局	会長が委嘱	事務局委員		
監査委員	会員より会長が指名し総会により承認	監 事	松村 豊和	松 村 豊 和
〃	区長会幹事で総会の承認	監 事	高野 宏明	斉 藤 治
〃	区長会幹事で総会の承認	監 事	前田 政喜	宮 本 康 男

味真野自治振興会組織図



味真野自治振興会会則

(名称)

第1条 本会は、味真野自治振興会という。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、越前市味真野町第7号2番地の1に置く。

(目的)

第3条 本会は、味真野地区(以下「地区」という。)住民が人とのコミュニケーションを図り、住みよ
い暮らしの充実を目指し地区のあふれる自然を活かしながら、地区の将来像を考え、その実現に
向けて行動することによって、住民自治の振興に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1)地区の未来づくりの地域振興計画の策定及び見直し事業
- (2)文化教養に関する事業
- (3)青少年育成に関する事業
- (4)健康福祉に関する事業
- (5)安全防災に関する事業
- (6)みどり・景観と生活環境に関する事業
- (7)歴史・観光に関する事業
- (8)地域に関する事業
- (9)その他本会の目的達成に必要と認めた事業

(基本理念)

第5条 本会は、年齢、男女、社会的地位等の差別を排除し、住民誰もが自由に参加できるだけで
なく、若年層の積極的な参加を得るように努め、合議制による民主的な組織運営を行うものとす
る。

- 2 会議は、原則的に公開し会議録を整えるものとする。
- 3 住民への広報手段を制度的に整備するものとする。
- 4 地区の課題に積極的に取り組むものとする。

(組織)

第6条 本会の組織は、別表1のとおりとする。

2 本会に次の部会を置く。

部 名	部 名	部名
文化教養部	安全防災部	地域部
青少年育成部	みどり・環境部	
健康福祉部	歴史観光部	

(会員)

第7条 本会の会員は、地区住民及び本会の目的に賛同する地区内の団体及び事業所とする。

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

会長	1名				
副会長	若干名				
参与	1名				
理事	10名				
監事	3名				
事務局長	1名	庶務広報責任者	1名	会計責任者	1名
部長	7名				

(役員を選出)

第9条 役員を選出は、それぞれ次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長は、理事会の推薦により総会において承認を得る。
- (2) 参与は地区公民館長を充てる。
- (3) 理事は、地区区長会から3名と各部長とする。
- (4) 監事は、会長が区長会監事2名、会員1名を指名し、総会において承認を得る。
- (5) 事務局長、庶務広報責任者、会計責任者は、会員の中から理事会の承認を得て会長が指名する。
- (6) 部長は、各部ごとに部を構成する部員の互選により選出する。

(役員の仕事)

第10条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 参与は会務に参与する。
- (4) 理事は、理事会を構成し会務を掌理する。
- (5) 監事は、会計を監査し総会に報告する。
- (6) 事務局長は、会の事務を掌理する。
- (7) 庶務広報責任者は、会の庶務広報に従事する。
- (8) 会計責任者は、会の会計に従事する。
- (9) 部長は、部会の業務に従事する。

(役員の仕事)

第11条 役員の仕事は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員の中で欠員が生じたときは、役員を補充することができる。ただし、任期は、前任者の残任期間とする。

(顧問)

第12条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の推薦により会長が委嘱する。
- 3 顧問は、本会の運営について会長の諮問に応ずる。

(事務局員)

第13条 本会に次の職員を置くことができる。

- (1)事務局員 若干名
- 2 事務局員は、会長が委嘱する。
- 3 事務局員は、本会の事務に従事する。

(代議員)

第14条 地区内の各町及び事業所に代議員を置く。

- 2 各町の代議員数は、町内代議員選出基準(別表2)によるものとする。事業所を代表する代議員数は、5名以内とする。
- 3 代議員は、各町内において、町内会員から選出する。事業所の代議員は 越前市商工会味真野支部会員から選出する。
- 4 代議員は、届出制とし、その任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第15条 本会の会議は、総会、理事会、部会、とする。

(総会)

第16条 総会は、代議員をもって構成する最高の議決機関であって、この会則に定める事項のほか、この会の目的を達成するために必要な重要事項を議決する。

- 2 定期総会は、会長の招集により毎年1回以上開催する。
- 3 臨時総会は、会長が必要と認めたとときのほか、代議員または理事の3分の1以上の要求があったとき、会長の招集により開催する。
- 4 総会は、委任状を含め代議員の2分の1以上の出席により成立し、その議事は、出席者及び委任状を含めた過半数で議決する。可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(総会の議決事項)

第17条 総会は次の事項を審議する。

- (1)地域振興計画の策定または見直し
- (2)会則の制定または改定
- (3)事業報告及び収支決算の承認
- (4)事業計画及び収支予算の承認
- (5)総会で提案された事項

(総会役員)

第18条 総会には、次の役員を置く。

- (1)議長 1名 書記 1名 議事録署名人 2名
- 2 議長は、出席代議員の中から会長が指名し、出席代議員の承認により選出する。
- 3 書記、議事録署名人は、議長が指名する。ただし、議事録署名人は、出席代議員の中から選出する。
- 4 議長は、総会の議事進行を行う。
- 5 書記は、総会の議事等について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成しなければならない。
- 6 議長及び議事録署名人は、議事録の内容を確認した時は、議事録に署名押印しなければならない。
- 7 議事録は、庶務広報責任者が保管管理する。

(理事会)

第19条 理事会は、会長が招集し、次の事項を審議する。

- (1)本会運営の基本事項
 - (2)地域振興計画の企画及び見直し
 - (3)総会に付議する事項
 - (4)緊急を要する重要事項
 - (5)その他必要な事項
- 2 理事会は、会長、副会長、参与、理事、事務局長、庶務広報責任者、会計責任者をもって構成する。
 - 3 理事会の議長は、会長が行い、その議事は、庶務広報責任者が記録する。
 - 4 議事録は、庶務広報責任者が保管管理する。

(部会)

第20条 部会は、地区内の各種団体及び公募からの会員をもって構成する。

- 2 地域部は、地区内各区長をもって構成する。
- 3 部会は、部長が招集し、部に関わる事業の計画立案及び承認された事業を実施する。

(会計)

第21条 本会の経費は、会費、交付金、寄付金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 本会の経費は、総会で議決された予算の範囲内において用途の変更及び流用をすることができる。ただし、この場合、理事会の承認を得なければならない。
- 3 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(情報等の公開と広報)

第22条 本会の会議等はすべて公開を原則とし、事業計画、事業報告、予算、決算について地区住民に周知するものとする。

2 会員は、いつでも本会の会計帳簿及び各議事録を閲覧することができる。

3 前項の規定による閲覧申請があった場合、会長は、遅滞なくこれを許可し関係者立会いのうえ、閲覧させなければならない

(その他)

第23条 この規定に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

附則1 この会則は平成 16 年 4 月 1 日より施行する。

附則2 平成17年4月24日一部改正する。

附則3 平成18年4月22日一部改正する。

附則4 平成19年4月21日一部改正する。

附則5 平成21年4月18日に改名と組織変更改正する。

別表2

町内代議員選出基準

代議員は、下記の1に2の表の構成人口に対応する選出代議員数を加算した数とする。

1 各町内は、代議員を1名選出するものとする。

2 各町内は、1とは別に下記の表に応じた数の代議員を選出するものとする。

町内代議員選出基準表

町内の構成人口	選出代議員数	備考
300 人まで	2 人	
301 人から 400 人まで	3 人	
401 人から 500 人まで	4 人	
501 人以上	5 人	

わたしたちの誓い

越前市民憲章

わたしたちは、恵まれた自然と輝かしい伝統にはぐくまれた越前市民です。

この郷土を愛し、心と力をあわせ、なおいっそうの発展をめざすため、次のことを誓います。

- 1 わたしたちは、日野の峰のように、
高い理想をいだき、豊かな未来をきずきます。
- 1 わたしたちは、日野の流れのように、
うるおいと安らぎのある環境をつくれます。
- 1 わたしたちは、桜の木のように、
力強くすこやかに成長します。
- 1 わたしたちは、菊の花のように、
やさしさと思いやりをもって助けあいます。
- 1 わたしたちは、国府の文化と匠の技を生かし、
学びの輪をひろげ、世界にはばたきます。